



学術シンポジウム・法と心理学者による実務家研修

「多言語社会を迎えて
 ことばの壁とどう向き合うか
 ～留学生が事件・事故に遭遇したとき～」

- ・参加無料
- ・事前申し込みをしてください

法と心理学の見聞・成果を現場の方々を知っていただくために、文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究「法と人間科学」が、実務家研修を企画いたしました。参加費は無料です。みなさまの参加を心よりお待ちしております。

● 対象：留学生教育・支援にかかわる教職員、実務家(弁護士、警察官、社会福祉士など)。学生サポーター、市民ボランティア、一般の方もご参加いただけます。

2015年11月1日(日)
 13:00～17:15(12:30開場)

徳山大学 301教室

〒745-8566 山口県周南市学園台

(山陽自動車道 徳山東ICより車で5分、駐車場240台(記念会館裏)。

JR山陽本線・新幹線「徳山」駅下車、JR 徳山駅前バスターミナルより防長バスで20分

・「久米温泉口」または「ひばりヶ丘」行きで「大学・高専下」下車(徒歩3分)

・「徳山高専」行きで「大学前」下車(徒歩1分)

http://www.tokuyama-u.ac.jp/about/campus_life/campus_info/accessmap/

近年の日本社会の国際化にともない、留学や就業のために日本で生活する外国人が増えています。しかし、外国人の母語に対応できる公共サービスや通訳人の数はまだまだ不足しており、さまざまな場面において、周囲の支援者の仲立ちが期待されています。本学術シンポジウム・実務家研修では、外国人留学生とかかわる教職員や実務家、学生サポーターや市民ボランティアを対象として、外国人が事件・事故に遭遇した場合を取り上げ、専門家の先生方から先行事例や正しい知識を学ぶとともに、参加者を交えたディスカッションによって、今後加速することが予想される国際化に向けて、ことばの壁とどう向き合い、どのように支援していくべきなのかについて共に考える機会とすることを企画としています。

- 13:00 開会のあいさつ・
 徳山大学・福祉情報学会会長 岡野 啓介
 趣旨説明
 徳山大学・准教授 羽瀧 由子
 <第1部 学術講演>
- 13:10 ● 留学生支援の観点から
 徳山大学・講師 立部 文崇
- 13:30 ● やさしい日本語の観点から
 一橋大学・教授 庵 功雄
- 14:10 ● コミュニティ通訳の観点から
 金城学院大学・教授 水野 真木子
- 14:50 --- 休憩 ---
 <第2部 実務家研修>
- 15:00 ● 外国人事件の観点から
 東京パブリック法律事務所・弁護士 土方 恭子
- 15:40 ● 子どもの司法面接の観点から
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
- 16:20 --- 休憩 ---
 <第3部 全体討論>
- 16:30 ● 全体討論会
 司会：徳山大学・准教授 羽瀧 由子
 パネラー：
 徳山大学・講師 立部 文崇
 一橋大学・教授 庵 功雄
 金城学院大学・教授 水野 真木子
 東京パブリック法律事務所・弁護士 土方 恭子
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
- 17:10 閉会のあいさつ
 北海道大学大学院・教授 仲 真紀子
 (新学術領域研究「法と人間科学」代表)

- 講師 立部 文崇 (徳山大学・講師)
 庵 功雄 (一橋大学・教授)
 水野 真木子 (金城学院大学・教授)
 土方 恭子 (東京パブリック法律事務所・弁護士)
 仲 真紀子 (北海道大学大学院・教授/
 「法と人間科学」代表)
- 企画 羽瀧 由子 (徳山大学・准教授/
 「法と人間科学」公募研究班代表)

* 参加を希望される方は、法と人間科学 HP
 (<http://law-human.let.hokudai.ac.jp/group/summary/archive/117777/>) より申込み用紙をダウンロードし、ご記入の上、メールにてお申し込みください。「法と人間科学」総括班支援室よりお返事いたします。

● 申込み・問合せ先：
 北海道大学大学院文学研究科
 新学術領域研究「法と人間科学」総括班支援室
 email: lahs@let.hokudai.ac.jp、tel: (011) 706-3912

主催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
 「法と人間科学」総括班

共催：文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究
 「法と人間科学」公募研究「外国人留学生に対する
 面接のガイドラインの開発：中国語母語話者を中心に」、
 徳山大学福祉情報学会

後援：日本認知心理学会、法と心理学会、
 公益財団法人 山口県国際交流協会